



HU D&I ACTIVITIES

VOL.10
APR, 2025

広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 活動報告

第5回 広島大学・国立特別支援教育総合研究所ジョイントセミナー 「学習障害・学習困難のある子どもたちの教育」

◆日時

2025年4月19日(土)
13時00分～16時15分

◆場所

ミライクリエ大会議室
(広島大学 東広島キャンパス)

◆参加者

111名
(対面49名, オンライン62名)

◆実施目的と概要

「学習障害や学習困難を抱える子どもたちの教育」をテーマに、最新の研究に基づいた情報を、全国の教育関係者や大学生等と共有します。

広島大学 国立特別支援教育総合研究所
第5回 広島大学・国立特別支援教育総合研究所ジョイントセミナー
テーマ: 学習障害・学習困難のある子どもたちの教育
文部科学省(2022)によると、学習障害または行動面で著しい困難を伴うとされた児童生徒の割合は、小中学校で8.8%、高校で2.2%であり、国勢調査においても、通常の学級に在籍する5%から30%が学習に困難を抱えています (Farnell, 2022; Westwood, 2023)。
本セミナーは、学習障害や学習困難のある子どもたちの教育に関する最新の研究に基づいた知見を、小学校・中学校・高等学校、大学の先生や学生に共有し、その後の学習に活かすことを目的に開催します。
日程: 2025年4月19日(土)
時間: 13時00分～16時15分(開場 12時30分)
場所: 広島大学 フェニックス国際センター MIRAI CREIA (ミライクリエ) 2階大会議室
対面&オンライン (Zoom)
参加無料 要申込 オンライン参加あり 日・英同時通訳
講演内容:
・学習障害とことばの学習
・聴覚性学習障害と読解テクノロジー
・通常の学級におけるSLD/ADHDのある児童生徒への支援方法
登壇者:
スーザン・メイン氏
エディスコーワン大学 教育学部 上級講師
川合 紀宗氏
広島大学 D&I推進機構 教授
マニファクトリアル・ウェルビーイング推進部長
村上 理絵氏
広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授
特別支援教育専攻プログラム
お問い合わせ: d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp

◆レポート

文部科学省による2022年の調査によると、小中学校で学習や態度に何らかの困難を抱えていると考えられる児童生徒は8.8%にのぼります。また世界的には、通常の学級に在籍する児童生徒の5-30%が学習に困難を感じていると言われています。

今回のセミナーは「学習障害や学習困難を抱える子どもたちの教育」をテーマに、学習障害とそれを支援する技術、学習障害と言語学習の関係、そして通常学級に在籍するADHDや学習障害のある生徒を支援する戦略について見解を深めました。

エディスコーワン大学（オーストラリア）の Susan Main 上級講師と、広島大学の川合紀宗教授と村上理絵准教授にご講演いただき、学習障害や学習困難を抱える子どもたちの教育について最新の研究に基づいた知見をご紹介いただきました。参加者は、学習や言語に困難を抱える子どもたちを支援するための基本方針や具体例について理解を深めることができました。また、ディスカッションでは活発な意見交換が行われました。

